

カーボンニュートラルの樹を育てよう

「JIA2050年カーボンニュートラルへの提言 2023」ご応募検討のお願い

2022.12.16 寺尾信子

11/15に掲題の広報が開始されました。しかし会員の認知度が十分ではありません。

改めてご覧いただけますでしょうか (1) JIA-HP トップのビッグバナー (2) JIA マガジン 405号 P26~29「カーボンニュートラルの樹を育てよう」「募集要項」「解説」。

ここで記載内容の繰返しは致しませんが、「誤解を受けている点」「応募の先にどんな期待があるか」「今応募を検討されている方の様子」などを、以下にお知らせしたいと思います。

身近なことに感じて頂けるものと思います。

- ◆ 冊子『JIA 2050CN への提言集 | 2023 (仮称)』はプロセスの第一段階の成果物で、事業の骨格は、次年度以後の運営も見据えた「デジタルプラットフォームの構築」です。
- ◆ JIAで芽生えようとしている初の試みを見守りながら育てるために、初年度は会員のみ対象の募集要項となっています。将来にわたって会員限定にする意図はありません。
- ◆ 2023.1.31までの応募提言は、原則全て、『JIA 2050CN への提言集 | 2023 (仮称)』に掲載されます。また、それを含め2023.2.1以後の応募提言は、「デジタルプラットフォーム」に原則全て、掲載されます。どなたでも見られる公開開始予定は4月中旬です。
- ◆ 2021.10発足のカーボン・ニュートラル特別委員会では、当初「1999年 JIA 環境行動指針」の「カーボンニュートラル版」を作る検討をしていましたが、多くの議論の末、2050年の現役世代にバトンを渡してゆく「デジタルプラットフォームの構築」に至りました。

- ◆ 日常の設計実務や研究・活動で培われた知見や提案を集積し、互いに参照し合い、意見交換の場を創り、若い世代の参加を広く募り、世代を超えて継承してゆく「集合知の構築」を目指しています。少ないながらも既に応募の準備に入られた方は複数おられます。



「カーボンニュートラルの樹を育てよう」の応募の先に見える道筋、それは

### 「りんご（知恵の実）の収穫」

です。「デジタルプラットフォーム」への応募を将来にわたって継続してください。

「付加」「更新」「検索」など、「デジタル化」ならではの特徴も期待されていますが、その運用についての斬新なアイデアも求められています。多くの方のご参加をお待ちしています。プラットフォーム上で是非お会いしましょう！！